

元気の
ビタミン
(おわり)

日本橋美人プロジェクト提唱者 山田晃子さん

美人は「粋」な街から生まれる

美人は、粋な街から生まれる――。「日本橋美人プロジェクト」を提唱する山田さんは、1人でも多くの女性に、日本橋の伝統に接してもらい、内面からの美しさを兼ね備えた「日本橋美人」になってほしいと呼びかけています。歴史ある街だけがもつ本物、その魅力が生み出す美しさ。「粋」な街が生み出す美人とは何なのか、山田さんに教えてもらいました。



やまだ・あきこ

東京都出身、女子美術大学芸術学部卒。株式会社ヤマダクリエイティブ代表取締役。日本画家。商業デザイン・企画制作会社社長業の傍ら、地域の活性化に取り組む。24歳で東京青年会議所のメンバーに参画し、99年に女性で初めて、東京青年会議所中央区委員会委員長に就任。2000年8月に日本橋OLクラブを設立。2005年10月に日本橋美人プロジェクトを提唱し、様々な普及活動を展開している

撮影・佐藤希以寿

江戸の文化を伝える老舗名店と

時代の最先端をゆくシヨップ、金融街や観光名所など、様々な要素が共生する日本橋。文化や歴史、食など、伝統に裏打ちされた魅力にあふれています。日本橋美人は、そんな「粋」な街に接することで培われる、心も身体も美しい女性のことです。

みずから会社を設立し、はやくから東京青年会議所で、日本橋の発展のために活躍してきた山田さんは、アフターファイブにOL達が訪れたくなるような街づくりの重要性を感じていました。それには、女性の感性を取り入れることが不可欠と考えた山田さんは、地元企業の女性社員の協力を得て、7年前に「日本橋OLクラブ」を立ち上げました。「若い女性達に、日本橋の魅力に気付いてもらえるよう、クラブのメンバーと様々な知恵をだしてきました」。そんな中

で、日本橋の伝統と

女性の美しさへの憧れを結びつける発想が生まれました。

こうして日

本橋美人プロ

ジェクトを提唱。

地元の老舗や企業の協力も得ながら、商品の開発、観光コースの企画、「日本橋美人新聞」の発行

など、街の伝統を吸収しながら、女性美しくなるエッセンスの企画を打ち出しています。

本物に息づく「美しさ」

「江戸から400年続く日本橋には、文化・伝統が息づいています。その中で働く人たちは、長い歴史から生まれた街の魅力を、からだ全体で感じています」。日本橋美人は、単に容姿の美しさだけを表現するものではなく、「粋」な街に接することで、健康や教養、品格など、内面の美しさも兼ね備えた女性です。山田さんは、こうした伝統の魅力を日本橋で働く人以外にも紹介したくさんの女性が日本橋美人になってほしいと願っています。

「今、日本橋で老舗と呼ばれてい



- ① 日本橋美人あんぱん (室町ボンクール)
- ② 日本橋美人手巻き用 焼きたて海苔 (山本海苔店)
- ③ 日本橋美人飴さくら (榮太樓總本舗)
- ④ 日本橋美人梅酒 (福井酒造)
- ⑤ 日本橋美人SOYシェイク・マンゴーブレンド (千疋屋総本店)

る名店も、400年前はベンチャーだったといえるのではないのでしょうか。長い年月をかけて、時代のニーズと真摯に向き合う姿勢が信用を築き、本物の価値を創り出したのだと思います。本物の企業が生ま出す街の魅力、そこには女性を内面から美しくするパワーが秘められています。「本物に接するからこそ、内面から気品や教養を身に着けることができる」。これこそ日本橋で美人が生まれる所以です。

女性の理想的な美人像

「日本橋美人は、色白の秋田美人や、舞妓さんを連想させる京美人のように、特定のイメージに密着した美人像ではありません。だからこそ日本橋の『粋』を取り入れた、心

も身体も美しくなる女性像を、日本橋から全国に向けて、発信していきたいと考えています」。ステップアップする気持ちを常に持ち続ける前向きな女性、それこそ山田さんがめざす日本橋美人の在り方です。

「素敵な女性のいるところには、素敵な男性がいます。素敵な人間が集まる場所には、素敵な街ができます。そして魅力ある街は、さらに魅力ある女性を育て、輝かせるのだと、私は確信しています」。全国の女性が日本橋の「粋」を求めて訪れる、そして、どこか心を豊かに美しくなってくれる。それは単に日本橋という街に縛られない、日本の文化が生み出す女性の美しさなのかもしれません。

